



はじめに

このガイドでは、CE 1300 アプライアンス/ハードウェアをビデオ ネットワークに設置する方法（含む：同アプライアンス/ハードウェアを準備して設置する方法と、基本的な初期設定を行う方法）について説明します。また、トラブルシューティングに関するいくつかのヒントも提供します。



Note 同アプライアンスは Cisco VCS 製品をサポートしていないため、このガイドは Cisco Expressway シリーズの展開専用ガイドです。

この章では、次の内容について説明します。

- [変更履歴, on page 1](#)
- [必要なソフトウェアバージョン, on page 2](#)
- [サポートされているシステムサイズ, on page 2](#)
- [相違点, on page 2](#)
- [詳細情報とトレーニング, on page 4](#)

変更履歴

Table 1: 変更履歴

日付	変更内容	理由
2023 年 9 月	初回リリース 『Cisco Expressway CE1300 Appliance Installation Guide for X14.3.1』リリースの内容を更新	Expressway バージョン X14.3.1 と同時に公開

必要なソフトウェアバージョン

CE1300 には Expressway ソフトウェアがプリインストールされて同梱されています。プリインストールされているこのソフトウェアを以降のサポート対象バージョンにアップグレードすることが将来必要になった場合は、そのようにすることができます（Cisco Expressway にインストールされているそのソフトウェアが最新かどうかを確認するには、[ソフトウェアのダウンロード](#) にアクセスし、Cisco Expressway に移動します）。

Expressway ソフトウェアの必要最小バージョンは、使用するアプライアンスのリビジョンによって異なります。これをシリアル番号から識別するには、次のようにします。

Table 2: CE1300 アプライアンスでサポートされるソフトウェアの最小バージョン

Platform	シリアル番号	ソフトウェア要件
CE1300 (UCS C220 M6S にプレインストールされた Expressway)	52E5####	X14.3.1 以降



Caution システムでは以前のソフトウェアバージョンにダウングレードすることもできますが、表に指定されているバージョンより前のバージョンを実行するアプライアンスはサポートされていません。この要件は UCS C220 M6S ベースのすべてのアプライアンスに適用されます。

サポートされているシステムサイズ

このアプライアンスは、大規模または中規模の Expressway システムをサポートしています。

Cisco Expressway-Cs でなく Cisco Expressway-Es として展開されるアプライアンスの場合、Expressway ソフトウェア内のシステムサイズのデフォルト設定を、オプションで大規模システムから中規模システムへ、またはその逆方向に、変更することができます。

相違点

既存の CE500、CE1000、または CE1100 アプライアンスを展開している方向けに、この項では CE1300（および前の CE1200 バージョン）における違いをいくつか示します。

- CE1300 は、Cisco Expressway シリーズの製品範囲で使用するよう設計されており、Cisco VCS 製品をサポートしていません。リリースキーがプリインストールされた状態で出荷されます。
- CE1200 より前の Expressway アプライアンス（仮想アプライアンス）とは異なり、CE1300 は Cisco Expressway-C または Cisco Expressway-E として動作する単一の多目的サーバです。

デフォルトでは、常に、Expressway-C がプリインストールされた状態で出荷されます。サーバーを Expressway-E として展開するには、サービスのセットアップウィザードで **[タイプ (Type)]** オプションを *[Expressway-E]* として設定します (ウィザードは、初めて Expressway Web ユーザーインターフェイスを起動したときに実行されます。または、**[ステータス (Status)]** > **[概要 (Overview)]** ページからいつでも実行できます)。**[トラバーサルサーバー (Traversal Server)]** オプションキーは、Cisco Expressway-E に変更する手段として使用されなくなりました。

- このアプライアンスは、ほとんどのオプションキーがデフォルトでインストールされた状態で出荷されるようになりました。オプションキーを手動でインストールする必要がある機能は、次のものだけです。
 - デスクトップ システム ライセンス
 - ルーム システム ライセンス
 - RMS ライセンス
 - 高度なセキュリティ
 - Microsoft 相互運用性
- CE1300 は最大 5000 のモバイルおよびリモートアクセス登録をサポートできますが、出荷時にロードされた制限付き容量の制限されたエクスポート制限のない Expressway イメージ (最大 2500 のセキュア/暗号化セッション) が付属しています。フルキャパシティのエクスポート制限付きイメージの対象となる場合は、Expressway Select を注文する必要があります。詳細については、『[Cisco Expressway および Cisco Expressway Select Release Note for X14.3.x \(X14.3 および X14.3.1 リリースを含む\)](#)』を参照してください。
- CE1300 には、デフォルトでは電源ケーブルは付属していません。ただし、注文の設定時に選択できます。KVM ケーブルも含まれていませんが、必要に応じてシスコ製品 **N20-BKVM=** を別途注文できます。

CE1300 モデルが含まれている既存のクラスタに CE1300 アプライアンスを追加するには、クラスタに CE1300 を追加する前に、**[ステータス (Status)]** > **[概要 (Overview)]** ページのサービスのセットアップウィザードを使用して、他のピア (Expressway-E または Expressway-C) に合わせて **[タイプ (Type)]** オプションを構成します。



Note CE1300 物理ハードウェアは、自己暗号化ディスク (SED) を使用し、暗号化が無効な状態で出荷されます。暗号化を有効にするには、「[付録 A : 自己暗号化ディスクに暗号化を有効にする](#)」を参照してください。

詳細情報とトレーニング

トレーニング

トレーニングはオンラインおよびシスコ指定のトレーニング会場で受講できます。提供するコースとトレーニングを行うオフィスの場所は、こちらの[リンク](#)に記載されています。

用語集

TelePresence 用語の用語集は、[リンク](#)から参照できます。

関連資料

- このアプライアンスの設置に関する詳細は、『[Cisco UCS C220 M6 サーバ設置およびサービスガイド](#)』に記載されています。
- Cisco Expressway ソフトウェアの管理および操作は、『[Expressway Maintain and Operate Guides](#)』ページの『[Cisco Expressway 管理者ガイド](#)』に記載されています。
- Cisco Expressway のクラスタの作成およびメンテナンスは、『[Expressway 設定ガイド](#)』ページの『[Cisco Expressway クラスタの作成とメンテナンス導入ガイド](#)』を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。